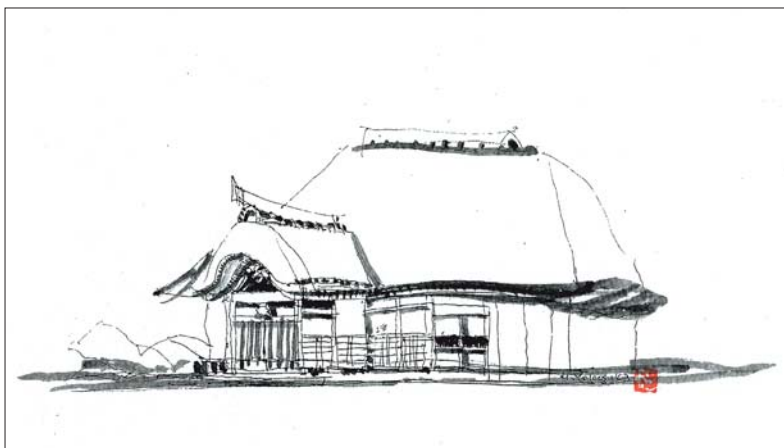




(2017-18年度 国際ロータリー・テーマ)



ロータリー：
変化をもたらす



県指定文化財「富岡家住宅」(土浦市)

介護に思う

高貫 修 (コンピュータ・ソフト)

誰もが通る道。それは老い。おぎゃあと生まれたならば、幸運な人ほどその道が待っている。

母が脳血栓で倒れたのが去年の二月。86歳だった。脳のほとんどの部分が灰色になってしまったが、何とか生き延び、入院とリハビリを経て、自宅で生活している。言葉も体も不自由になり、何をしても周りの人間の介助が必要になった。倒れる前より10倍我がままになった彼女は、特に父親にはかなりの負担をかけ続けている。

その父が夏前から股関節の痛みを訴え始めた。87歳。近頃は歩けないほど痛いと言う。背中も痛い、膝も痛い。先だつては風呂から出れないと大騒ぎになった。病院に連れていくと、今から手術して、きついリハビリを受けるか、このまま痛み止めを処方し続けて死ぬのを待つかの二択だと言う。厳しい状況。親父は「もういっぺ」と言う。悲しい言葉。何とかしてあげたいけれど、本人はもう諦観

の内にある。母親と一緒に施設に入るのだと。

老いによって、なにもかもが変わってしまう現実、とても受け入れがたいこと。時間の流れは止められないし、赤ん坊は少年になり、少年は大人になる。大人は死ぬ。親父はもう死ぬことを考えている。私は時間を止められればと祈っている。むなしい願いだ。

物事が変化するときはチャンスだという。自分も一緒に変わる。成長する。新しい何かを手に入れる。両親とともに、私も老いて行く。これもまたチャンスか……。きっとそうなのだろう。いずれ、子供が誰かに対して「もういい」という日が来るのだろう。

今は受け入れることと諦めることの差がわからない。老いは、その二択の間で進行していく。いつか、自分にもわかる日が来るのかもしれない。介護は、そんな先の日を現実として感じさせてくれる。このまま幸運が続けば、いつか来るだろう、決断の日への準備なのかもしれない。

No. 8 2017・8・29

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 砂押 憲正 ■幹事 衣笠 勤

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



沖縄研修旅行報告

(2年生：川嶋 希望・湯中慎太郎)

1日目、那覇空港に到着後、バスに乗り換え、首里城公園に向かいました。1519年に造られた園比屋武御嶽石門は、国王が首里城を出て各地を巡る際に道中の安全を祈願した拝所です。沖縄戦で大破しましたが、現在では見事に復元されています。首里城は、琉球王国の栄華を物語る立派な建物で、中国と日本の建築文化がうまく融合した、独特なたたずまいを見せていました。首里城公園では、首里城の前で、重要無形文化財に指定されている琉球舞踊を見ることができました。

2日目、斎場御嶽という聖地を訪問しました。2本の立派な鍾乳石から落ちる聖なる水を受け取る2つの壺があり、ここに溜まった水を聞得大君という琉球神道における最高神女が、占いの儀式に使うのだそうです。ここからは神の島と呼ばれている久高島を見ることができます。聖なる島を見ていると、体の疲れが癒されるような思いをしました。またアブチラガマは、太平洋戦争末期の沖縄戦で日本兵や住民の避難場所、野戦病院として使われた鍾乳洞です。この中に1000人もの方が入っていたとは思えないほど劣悪な環境で、今、普通に外で暮らしていることが、どんなに幸せなことか実感しました。この平和を守るためにも、歴史を学び考えて行動することの大切さがわかりました。そして、ひめゆりの塔では、私たちと同じ年の女子学生が、看護要員として戦場に動員され、亡くなっていったという事実を学びました。自分が当時の兵隊やひめゆり学徒だったら、怖気づき、動くことができないでしょう。今、当たり前のように生活できること、勉強できることに感謝して、そ

の気持ちを忘れないことが、次の戦争を防ぐ第一歩になると思いました。

3日目の朝、沖縄の興南高校のインターアクトと合流して、一緒に沖縄について学びました。沖縄では小学校の時から戦争について勉強していると聞いて、茨城との違いを感じました。彼女たちも、一日我々に同行してくれ、沖縄の高校生の話や、米軍基地の話などを聞くことができました。この日は、激戦が繰り返され、映画『ハクソー・リッジ』の舞台ともなった前田高地や、嘉数高地を見学しました。お互いに多くの犠牲者を出した場所です。慰霊碑に黙とうをささげました。嘉数高地からは普天間基地を見下ろすことができ、そこを離発着するオスプレイが頭上を通り過ぎていきました。基地は街のど真ん中にあり、学校や家の上を当たり前のように飛んでいきます。実際に落ちたこともあり、沖縄の人たちが抱く不安な気持ちがよくわかりました。

辺野古新基地前には、テレビで見たことのある反対運動が実際に行われていました。暑い中、たくさんの近所の住民が「基地反対」の看板を持って訴えていました。実際にテレビでは伝わらない迫力を感じました。彼らはピリピリしているように思われがちですが、手を振った我々に笑顔で手を振り返してくれました。実際に沖縄の人を見ることで、現地の人々の悲痛な気持ちが伝わってきました。こんな綺麗なビーチがこれから基地開発によって汚されてしまう現状を、皆さんはどう思われますか？

ホテルに戻り、班のみんなで3日間の反省をしました。3日間で一番思い出に残ったことなどを話し合い、リーダーが発表しました。それぞれ違った意見を聞くことができ、人によって見方が違うことを知りました。他の人の意見を聞くことの大切さを学ぶことができました。

4日目は、おきなわワールドで、また琉球ガラスでグラスなどを作る体験をしました。また、玉泉洞という、巨大な鍾乳洞を見学し、神秘的な雰囲気と心を奪われました。同じ鍾乳洞なのに、戦争で使われたガマと全く違うもののように感じました。この沖縄研修を通して、茨城では決して学ぶことのできない貴重な体験をさせ

ていただきました。本当に充実した4日間になりました。普段、当たり前の中の生活の中にある保護者の存在の大切さにも気づきました。共に過ごしたインターアクターの皆さん、顧問の先生方、また、貴重な経験を与えてくださったロータリーの方々、本当にありがとうございました。

年次大会の報告

(水城高校 IAC 会長：西野 俊太)

今回のインターアクト年次大会では、「災害、“今”何ができるか。誰のために？何のために？」をテーマに、災害に関して私たちインターアクターが“今”できることについて考えました。

基調講演では、NGO 法人 CODE 海外災害市民センターで活動している上野先生にお越しいただき、災害支援の在り方についてお話を伺いました。実際の災害の現場での話を聞くことができ、「最後の一人まで被災者に関わる」ことを信念に支援を行っているとお聞きしました。質疑応答では、多くのインターアクターから質問があり、ただ話を聞くだけでなく、災害支

援について、自分自身の経験と照らし合わせながら深く考えることができました。

午後のワークショップでは災害すごろくと意見交換会を行いました。意見交換会では、基調講演や災害すごろくを通して学んだ中から、「私たちが今何がしたいか」について話し合いました。そのあと、各校の IAC の活動報告を聞き、今後の自分たちのヒントをそれぞれの学校から得ることができました。

青少年奉仕総括の稲本委員長、講師の上野先生から講評などをいただき、水戸ロータリークラブの砂押会長からも本日の感想などをいただき、無事に年次大会を終えることができました。

今回の年次大会を通して、私たちインターアクターは、災害で今も苦しんでいる人がいること、そして私たちにもできることがある、ということを知りました。今後も自分たちができる形で地域に貢献していきたいと考えています。

今大会のために私たち水城高等学校 IAC に多大なご支援をたまわり、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

例会報告

8月第5例会

司会 松岡 委員

◇ ゲスト紹介

水城高等学校インターアクトクラブ

会 長 西野 俊太さん
2年生 川嶋 希望さん
" 湯中慎太郎さん
顧 問 藤井真智子教諭

皆様よろしくお願ひ致します。

◇ 出席報告

任田副委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
114名	66名	48名	59.46%

前 週訂正出席率 64.22%

前々週訂正出席率 72.90%

◇ 会長の時間

砂押会長

先週の納涼家族会には、多くのご家族の方々、RACのメンバー、長期交換学生などご参加頂きありがとうございました。

さて、日曜日に石岡プラザホテルにて第1回会長幹事会がありました。当日は「3年以内新会員向けオリエンテーション参加のお願い」とのことで参加依頼があり、10月22日(日)10時からリリーベール小学校にて参加費3,000円にて開催されます。対象者の参加をお願い致します。また今週末9月3日には早川ぶどう園にて恒例のふれあいデーが実施されます。関係者の

◇ 会員メイクアップ

8/24 水戸好文 RC 牧 厚志 成田 浩明

8/27 地区会長幹事会

井上 壽博 砂押 憲正 衣笠 勤

◇ にこにこBOX

鯉沼委員

高貫会員…本日、インターアクトの沖縄研修旅行と水城高校で行われた年次大会の報告を致します。宜しくお願ひ致します。

砂押会員…納涼家族会ご参加ありがとうございました。写真もありがとうございます。

横須賀(満)会員…写真ありがとう。

太田会員・沼田会員・吉原会員…写真ありがとうございました。

岡崎会員・後藤会員…納涼家族会の写真ありがとうございます。

石川(信)会員…納涼家族例会楽しかったです。皆様お疲れ様でした。

幡谷会員…第40回水戸ジュニアオーケストラ定期演奏会無事終わりました。ご協力感謝します。

黒田会員…やっとなつと、初孫が生まれました。男子2884gです。

成田(浩)会員…先週土曜日、56回目の誕生日でした。

鯉沼会員…先週末、富士山へ登ってきました。キツカッタ！

本日の合計	13件	70,000円
8月の合計	54件	286,000円
累計	107件	619,000円

◇ 財団BOX

小林大次郎会員……財団の友献金
(第10回) \$ 100 11,100円
(累計 \$ 5,000)

石川 信会員……財団の友献金
(第2回) \$ 100 11,100円
(累計 \$ 200)

この計	2件	22,200円
-----	----	---------

◇ 米山BOX

篠崎 和則会員……米山功労者献金
(第8回) 10,000円
(累計 180,000円)

石川 信会員……準米山功労者献金
(第3回) 10,000円
(累計 30,000円)

この計	2件	20,000円
-----	----	---------

◇ 幹事報告

衣笠幹事

1. 9月定例理事会が開催されます。理事・役

員の方々のご出席をお願い致します。

とき 9月5日(火) 11:30

ところ 三の丸ホテル

議題 1) ガバナー公式訪問について

2) 水戸市内6RC合同例会について

3) 第38回ライラセミナーについて

(青少年奉仕委員会)

4) 第3分区親睦ゴルフ大会について

5) 9月・10月の例会プログラムについて

6) 会計報告

7) その他

2. RI第7620地区(アメリカ メリーランド州 ケーズパーク市)より長期青少年交換学生 レベッカさんが、8月21日来日され、9月1日より常磐大学高等学校に通学されます。第1ホストファミリーは、鈴木勝彦会員宅となります。また、鈴木璃子さんは、8月24日アメリカに出発されました。

3. 中期計画特別委員会家庭集会が開催されます。

とき 9月1日(金) 18:30

ところ 天婦羅 瀧口 水戸市新荘3-6-24

TEL 221-7865

議題 今年度の活動について

会費 5,000円



週報担当 和田幾久郎 副委員長

例会予告

9月12日(火)

— イニシエーションスピーチ —

卓話「私を構成するもの」

藤本 淳 会員

9月19日(火)

卓話「ガバナー公式訪問に向けて」

第3分区ガバナー補佐

坂倉 弘國氏(笠間RC)

9月27日(水)

— 水戸市内6RC合同例会 —

講演「水戸市民会館のコンセプトと周辺市街地の展望について」

(株)伊東豊雄建築設計事務所

代表 伊東 豊雄氏

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……